

## ビリビリ ADR(BILI)

【セクター】 インターネット

【市場】 NASDAQ

## 【企業概要】

中国の動画配信サービス大手。2018年に米国市場、2021年に香港市場（銘柄コードは09626）に上場しました。動画やライブ配信、モバイルゲーム、アニメ配信などのプラットフォームを提供しています。月間アクティブユーザー数は3億人を超えています。部門別売上高構成比（22.12期）は、付加価値サービス（プレミアム会員サービスやライブ配信中の課金サービスなど）が39.8%、広告が23.1%、モバイルゲームが22.9%、Eコマース・その他が14.1%（注）です。

（注：四捨五入の関係で合計は100%とまらない）

【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

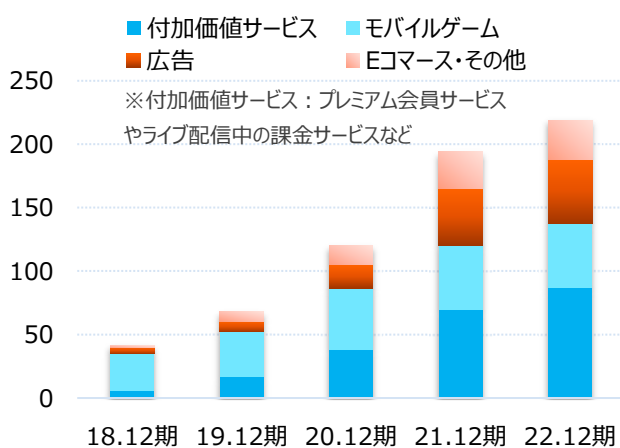
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	19,384	-6,586	-17.34	0.00	55.6	-46.3	41.7
22.12期	21,899	-6,692	-16.95	0.00	48.2	-40.6	36.4
23.12期（予）	22,796	-3,497	-8.66	0.00	32.7	-31.1	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

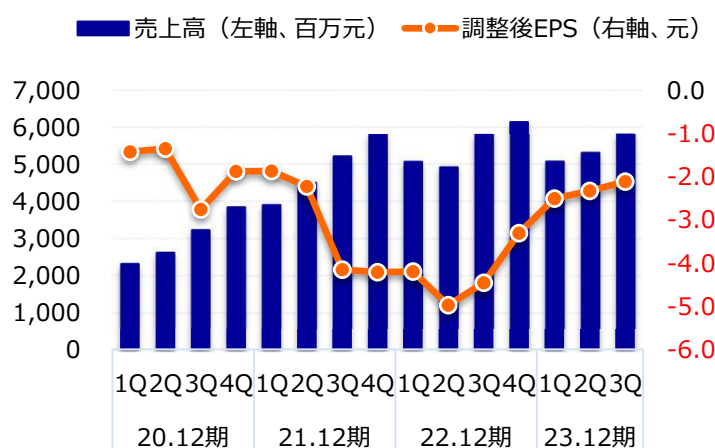
## 【主要指標】

部門別売上高（通期ベース、億元）



（出所）Bloomberg データによりSBI証券作成

売上高と調整後EPS（四半期ベース）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

## 【会社の見方】

「Bilibili」は若い世代に人気があり、1985年-2009年生まれの人口の8-9割が同社のサービスを利用しています。良質なコンテンツを提供し、コミュニティのエンゲージメントを高めることでユーザーを獲得し、有料ユーザー数を増やしてきました。19.12期まではモバイルゲーム部門が売上高の5割以上を占めましたが、20.12期以降はプレミアム会員やライブ配信中の課金の増加とともに、付加価値サービス部門の売上高がモバイルゲーム部門を超えました。広告やEコマース・その他部門も、ユーザー数の拡大を背景に伸びました。一方、ユーザー獲得のための販促費や事業拡大に向けた投資が高み、赤字幅は膨らみました。一定のユーザー数を獲得できたことで、今後はマネタイズや赤字幅の縮小に注力し、24.12期には営業利益（調整後）ベースでの黒字化を目指しています。当面は、利益率や赤字幅の改善を実現できるかどうかが目玉ポイントです。

## 【見通し・注目点】

3Qの調整後EPSは-2.12円で2Qの-2.33元より縮小しましたが、市場予想（-1.85元）には届きませんでした。粗利益率とモバイルゲーム部門の売上高が予想以上に低下しました。2Qに続き、通期の売上ガイダンスを小幅ながら下方修正しました。同社はユーザー数の拡大に伴い、赤字幅を縮小してきましたが、足元の業績動向からは改善ペースの鈍さが示されました。

## 本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。